PART2　形容動詞・音便

形容動詞

性質や**状態**を表し、終止形が「～　　　」「～　　　」となる。

★活用の種類

「ナリ活用・タリ活用」

活用の種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ナリ活用	静かなり		なら	なり　／	なり	なる	なれ	なれ
タリ活用	堂々たり			／				

※連用形「　　・　　」には、基本**下に助動詞**がつく。

問三　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

①　うつくしげなるかたちなり。

②　前栽どもいと心苦しげなり。

③　いみじく泣くを見給ふも、すずろに悲し。

④　漫々たる海上を遠見して…

⑤　日もいと長きに、つれづれなれば、夕暮の…

⑥　契り深くあはれならめ。

⑦　佳景(かけい)〔＝素晴らしい景色〕寂寞(じゃくまく)と〔＝静まり返っている様子〕して…

「音便」

発音しやすいように、別の音に変化する現象のこと。

（例）書**き**て→書**い**て　＝「**イ**音便」という。

【動詞】

●イ音便「き・ぎ・し」→「い」

●ウ音便「ひ・び・み」→「う」　（例）買**ひ**て→買**う**て

●**促音**便「ひ・ち・り」→「**っ**」　（例）買**ひ**て→買**っ**て

●**撥音**便「に・み・び」→「**ん**」　（例）飛**び**て→飛**ん**で

ラ行変格活用連体形活用語尾「**る**」＋**推定**の助動詞（「なり・めり」など）→「**ん**」

※この「ん」は省略されやすい。

（例）あ**る**なり→あ**ん**なり→あなり

【形容詞】

●イ音便　「き」→「い」　（例）白**き**花→白**い**花

●ウ音便　「く」→「う」　（例）苦し**く**て→苦し**う**て

●撥音便　「か＋ラ変」の連体形活用語尾「か**る**・しか**る**」＋**推定**の助動詞（「なり・めり」など）

→「か**ん**・しか**ん**」

※この「ん」は省略されやすい。

（例）　白か**る**なり→白か**ん**なり→白かなり

【形容動詞】

●撥音便　連体形活用語尾「な**る**」＋**推定**の助動詞（「なり・めり」など）→「な**ん**」

※この「ん」は省略されやすい。

（例）　静かな**る**めり→静かな**ん**めり→静かなめり

第5講　PART2　確認問題

①　傍線部の形容動詞には誤りがある。適切な形にしたものを、次の中から一つ選べ。

「颪しんしんと曾根崎の森にぞたどり着きにける。」

ア　しんしんたる　　イ　しんしんたら　　ウ　しんしんたり　　エ　しんしんたれ

②　傍線部について、活用の種類・活用形の組み合わせとして適切なものを、次の中から一つ選べ。

「ある小家のあやしげなるに立ち寄りて、…。」

ア　シク活用・命令形　　イ　ラ行四段活用・未然形　　ウ　タリ活用・連用形　　エ　ナリ活用・連体形

③　傍線部は、音便が用いられている。その名称として適切なものを、次の中から一つ選べ。

「野分のまたの日こそ、いみじうあはれに、をかしけれ。」

ア　イ音便　　イ　ウ音便　　ウ　撥音便　　エ　促音便

④ 「心苦しげなんめり」の傍線部と音便が同じものを、次の中から一つ選べ。

ア　白い雪なり
イ　よっぴいて、ひゃうど放つ
ウ　「あなや」と思って
エ　忍んで入りたるに

⑤ 傍線部と活用の種類が同じものを、次の中から一つ選べ。

「夏虫、いとをかしう、らうたげなり。」

ア　人知れずいみじう思し嘆かせ給へど、…。
イ　昔の山里よりは水の音もなごやかなり。
ウ　いづくにいかにしておはすらむ。
エ　いとあはれになつかしうをかし。

第５講　ＰＡＲＴ２　解答

問三
①　ナリ活用・連体形
②　ナリ活用・終止形
③　ナリ活用・連用形
④　タリ活用・連体形
⑤　ナリ活用・已然形
⑥　ナリ活用・未然形
⑦　タリ活用・連用形

第5講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 傍線部の下に、「曾根崎」という体言がある。活用形を連体形にするので、アが正解。

② 「あやしげなる」は様子を表し、「～なる」なのでナリ活用の形容動詞。活用の仕方から「～なる」は連体形。よって、エが正解。

③ 形容詞「いみじく」の活用語尾が、発音しやすいように別の音に変化している。「く」↓「う」に変化しているので、正解はイ。

④ 形容動詞「心苦しげなる」の活用語尾が、推定の助動詞「めり」を伴って、「なる」↓「なん」に変化している。同様に、撥音便であるのはエ。「忍びて」↓「忍んで」に変化している。「なん」の「ん」は省略されやすいことに注意。

⑤ 「らうたげなる」は様子を表し、「～なり」なのでナリ活用の形容動詞。ナリ活用の形容動詞を探せばよいので、イが正解。

〔解答〕

① ア　② エ　③ イ　④ エ　⑤ イ